

名古屋市立大学の「今」を伝える広報誌



特集

2017年10月7日(土)、医学部附属病院で実施した災害訓練。地域住民や本学学生消防団らと協働で、訓練が行われました。

基礎科学を総合的に学び、次世代につなげる

2018年4月、

総合生命理学部を新設します

- 01 特集
- 02 TOPICS
- 04 国際交流
- 05 受賞関連
- 06 学生の活躍
- 07 イベントカレンダー／教員著書・発行者紹介／寄附頭彰

DONATION

あなたの力が支えます。

ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：事務局総務課
tel.052-853-8005

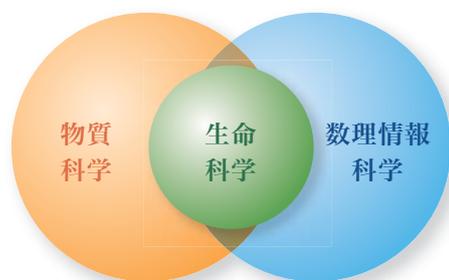


基礎科学を総合的に学び、次世代につなげる

2018年4月、総合生命理学部を新設します

2017年8月29日(火)、総合生命理学部の設置(2018年4月)が文部科学省から正式に認可されました。

中部地方の公立大学では初、また、東海3県では名古屋大学に次いで76年ぶりに理学部が誕生することになり、これにより理系人材の育成や地域への学術的な貢献のさらなる向上が期待されます。



生命科学をコアに
理学全体を俯瞰する学部教育

学部の特徴

- コンパクトな理学部のメリットを生かし、入学時に専門分野を選ぶのではなく、理学全体を幅広く学んだ上で、学生の学びたい専門分野を時間をかけて選択することができます。
- 本学の医学部・薬学部と連携した授業を行います。具体的には、医学部で新学部向けの放射線生物学を開講し、病院での演習などを行います。薬学部では生物統計学を薬学部生と一緒に受講します。
- 東山動植物園や名古屋市科学館と連携した総合博物館では、科学館・動植物園で行う実習などに参加します。

設置場所

滝子(山の畑)キャンパス

入学定員・収容定員

1学年40人(4学年160人)

学位名称

学士(理学)

■総合生命理学部オリジナルサイト <http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/>

取得できる免許

高等学校教諭一種免許状(理科)(予定)
※課程認定申請中

個別学力検査実施日

後期日程 2018年3月12日(月)

関連イベント

名古屋市立大学×名古屋市科学館

中・高生対象「ようこそ生命科学の世界へ」を開催!



2017年9月2日(土)、総合生命理学部新設を記念したサイエンスパートナーシップイベントを名古屋市科学館で開催しました。本学の理学系教員による最先端の研究内容の講演や科学館学芸員による生命館展示室特別ツアーのほか、参加者との交流会を実施。参加した中・高生からは「新しい学部や大学院という存在が少し身近なものになった」といった声をいただきました。

総合生命理学部

新設記念シンポジウム

「未来を拓くサイエンス」開催!

2017年10月15日(日)に行われた同シンポジウムでは、総合生命理学部長となる湯川泰教授から新設学部の現状が紹介された後、最新の研究成果を報告する基調講演が行われました。「サイエンスが織り成す未来」をテーマにしたパネルディスカッションでは、参加者から、社会人になっても学べる場として大学に期待したいといった意見が述べられたほか、高校生からも課題研究に関する相談が寄せられるなど、明るい未来に向けた活発な議論が交わされました。



化学の甲子園!

第14回 高校化学グランドコンテスト最終選考会開催!



文部科学大臣賞を受賞した
富山中部高等学校

2017年10月28日(土)・29日(日)、本学では初開催となる同コンテストは、田辺通キャンパスを会場に、延べ800人を越える来場者を集めました。参加校は過去最高をはるかに超え、初出場18校を含む66校・100チーム。北海道から沖縄まで27都道府県から参加し、台湾とシンガポールから3チームが招かれるなど、化学の甲子園にふさわしい大会となりました。日ごろの研究発表だけでなく、学生同士や研究者との交流などが盛んに行われ、高校生や高専生にとっては、本学での忘れられない経験となったでしょう。

DATE 9.5

THE世界大学ランキングにランクイン!

2017年9月5日(火)、イギリスの教育専門誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (THE)」が発表した今年の世界大学ランキングで、本学は601-800位にランクインしました。日本の大学の中では同率13位です。THEは世界の大学を教育力や研究力等によりランク付けをしています。本学では、学内にワーキンググループを設置し、ランキングの現状を踏まえた教育力・研究力等の強化に取り組んでおり、今後も世界での認知度の向上を目指していきます。



THE世界大学ランキングにおける評価分野

DATE 10.2



医学部附属病院

アジア初! 最新の放射線治療装置を導入

2017年10月2日(月)、アジア初となる同装置(トモセラピー ラディザクト)を導入しました。この装置の特長のひとつは「治療速度の向上」。従来の機器に比べ治療時において身体を静止する時間が短くなるため、患者さんの負担を軽減させることができます。もうひとつの特長は「放射線治療精度の向上」で、従来の機器以上に放射線治療効果を詳細に把握することができるため、より精度の高い治療が可能になります。この機器を積極的に活用し、今後も市民の皆さまに先進的かつ高度な医療を提供してまいります。

DATE 9.28

医学部附属病院

「ミッドタウンクリニック名駅」と共同研究を開始

2017年10月、名古屋駅前のJPタワー名古屋5階に、医療法人社団ミッドタウンクリニックが運営(リゾートトラストグループのアドバンス・メディカル・ケアが運営支援)する健診センター「ミッドタウンクリニック名駅」が開設されました。それに先立ち、9月28日(木)には本学で覚書締結式が行われ、膨大な健診データを活用し、予防医療などの健康増進を目的とした共同研究を開始すると共に、医療連携の推進も図ることになりました。

大学院 看護学研究科

看護実践スキルアップコース開設



臨床で活躍する看護職者が、基盤となる理論とスキルを修得し、実践力を高め、地域の看護水準の向上に資することを目的とした新たなコースを、学部設立20周年となる平成30年度から開設します。これは本研究科の科目等履修生制度を利用したもの。対象となる科目を2科目以上修了することにより、関心がある領域や臨床における課題等についてケーススタディを行い、発表の場が設けられることが特色です。

■詳細は、学部サイト
<http://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/>

DATE 10.3

研究成果の実用化を目指す!

「健康・医療 新技術説明会」を開催



2017年10月3日(火)、JST東京本部で開催した同説明会に、本学の他、大阪市立・岐阜薬科・静岡県立・横浜市立大学の4校が参加し、創薬や医療・福祉に関連した計10件の研究発表を行いました。本学からは、医学研究科の早野順一郎教授のもとで研究を行う湯田恵美氏と、薬学研究科の保嶋智也助教が発表。その後は、企業と個別に意見交換を行うなど、研究成果を知っていただく絶好の機会となりました。

説明会には149人もの企業関係者が来場



同クリニックの草野敏臣理事長(左)と本学の郡理事長

DATE 8.23

大学院 人間文化研究科

子どもたちの未来を守りたい! 臨床心理コース開設記念シンポジウム開催

2017年8月23日(水)、今年4月に開設した同コースを記念し、名古屋市教育委員会との共催により開催しました。およそ200人の来場者は、名古屋市独自の制度「なごや子ども応援委員会」の活動などに理解を深め、将来、スクールカウンセラーとしての活躍が期待される同コース11人の1期生と共に、教員とカウンセラー等の役割のすみわけなど日々の活動の課題を共有しあい、子どもたちの明るい未来について考えました。



有識者によるパネルディスカッションの様子

DATE 8.8

大学院 人間文化研究科 人文社会学部

施設で生活する子どもたちが 「名市大生」を体験★

2017年8月8日(火)、児童養護施設等で生活する小学生から高校生48人の大学体験企画「ようこそ大学へ!プロジェクト」を開催しました。本企画は、子どもたちが将来を考えるきっかけをつくる目的で行われ、当日は大学生とペアになり、研究室の訪問や自由研究の相談、また心理学の実験や学食などを体験しました。

大学での学びを体験! 高大連携の取り組み

本学では、意欲のある高校生に大学での教育研究への理解と関心を深めてもらうため、高大連携事業を進めています。3年目を迎えた「大学まるごと研究室体験」は、前年より開講数を倍増。3研究科にて、市立向陽・菊里・桜台・名東高校の計133人の生徒が各研究室で大学生と共に実験等を体験し、大学での「学び」の一端に触れました。

高大連携の主な取り組み

- 7/25(火)~8/28(月) 大学まるごと研究室体験
大学院 医学・薬学・システム自然科学研究科から30講座を開講
- 10/9(月) 授業公開(体育の日)
経済学・人文社会学・芸術工学部から11科目を開講
- 9/29(金)~1/26(金) 高大連携授業(後期5限開放)
教養教育科目2科目を高校生に開放
近隣の高校生が後期15回の授業に参加



大学まるごと研究室体験での実験の様子



学生85人が準備や当日のお手伝いなど企画に携わりました

DATE 8.17

薬学部

なつやすみ親子薬学教室を開催!

2017年8月17日(木)、小学5年生から中学生とその保護者を対象に、科学実験や薬の調剤実習を通して、薬学の魅力を体験する教室を開催しました。この催しは、瑞穂区役所との連携事業の一環として行われ、白衣に着替えた40人の参加者は、薬学部の学生から丁寧に手順を教わり、実習に挑戦。「親子で薬学部の勉強内容をリアルに学び、貴重な体験ができた」「難しいと感じていた薬学が、楽しいものだ」と知り、少し身近になった」と大好評でした。



学生の指導による化学発光の実験



カルピスをシロップ剤に、ラムネ菓子を錠剤にみたてた調剤実習

国際交流

本学協定校ミシガン州立大学から教授を招へい!

2017年9月2日(土)から1週間、マーク・スキッドモア経済学部教授をお招きし、本学経済学研究科での研究セミナーや懇親会にて、教員や学生との活発な意見交換を行いました。また、郡学長への表敬訪問では、共同研究の可能性について話し合うなど、今後の大学間交流の進展が期待されます。



スキッドモア教授を囲んで(左:郡学長。右:外谷教授)

看護学部

韓国ハルリム大学医学部看護学科学生との短期交換研修開催!

2017年6月19日(月)から5日間、本学協定校の同大学から学部生5人を受け入れ、演習や保健所での地域活動などを行いました。この取り組みは、2012年度から毎年交互に受け入れを実施。本学の看護学部生もボランティア活動の一環として、留学生宿舍への入寮支援や地域活動への同行など、積極的な交流を図りました。



地域療養生活看護援助論の演習の様子

芸術工学部

プリンスオブソクラー大学から教員を招へい!

2017年8月3日(木)から6日間、芸術工学部との研究交流を進めるタイの国立研究大学である同大学から教員3人を招へいました。今回は、本学の経済学部と人文社会学部も訪れ、研究・教育の情報交換をするなど、新たな交流の契機となりました。



郡学長(左上)への表敬訪問の様子(右上:横山教授)

医学部附属病院

薬剤部に海外の学生が訪問!

2017年8月24日(木)、日本薬学生連盟からの依頼により、イギリス・インドネシア・スロバキア・台湾からの留学生が、医学部附属病院薬剤部を見学しました。当院を例に日本の病院薬剤師の職能を紹介し、各国の薬剤師の現状を比較するなど活発に意見を交換し合いました。



大橋特任助教による留学生への説明の様子

DATE 8.19

愛知銀行共催

「夏休み学習教室 つくってみよう! 自分の未来図」開催!

2017年8月19日(土)、「将来設計とそのために必要なお金」をテーマに、公募の中学生27人が本学の経済学部生のサポートを受けながら、自分の未来図(ライフプラン表)を作成しました。グループワークを通してお金に関する疑問などを理解しながら、自分の夢を描きあげた中学生は、最後には希望に満ちた顔で、夢の実現について発表しました。



DATE 9.28

経済学部 × 人文社会学部

日本航空 × 名鉄観光サービス

「旅行商品開発プロジェクト2017」グランプリ決定!

2017年9月28日(木)、学生がおよそ6カ月にわたり取り組んできた、冬の北海道を目的地とした同プロジェクトの最終プレゼンテーションが行われました。グランプリは、個性的なテーマ設定と、徹底したヒアリング調査による商品化が評価された「雪ませんか? コスプレ旅in北海道」。この提案内容が名鉄観光サービスから、今冬に販売される予定です。



グランプリの経済学部 チーム「EU」(河合ゼミ)の皆さん

DATE 9.28・10.2

秋季卒業証書・学位記授与式 および入学式を開催!

大学教育のグローバル化を推進し、海外の学生が留学しやすい環境づくりを目指す一環として、本学では大学院の秋季入学制度を導入しています。全学的な式典として、9月28日(木)には同授与式、10月2日(月)には同入学式が執り行われ、留学生も参加する中、新たな人生の門出を祝いました。

平成29年度 永年勤続職員表彰

※五十音順に掲載

永く、本学で勤め、支え続けていただいた皆様へ、心より深く感謝いたします。
今後も健康にご留意いただき、ますますのご活躍をお祈りいたします。

■30年勤続表彰



江崎 哲夫
副薬剤部長(病)
今後も精一杯勤めますので
宜しくお願いします。



奥田 伸子
教授(人)
誠にありがとうございます。
今後も研究と教育に
尽力したいと存じます。



梶田 定子
助手(経)
ここまでよく続けました。
今後も日々精進。



新海 由美
看護師(病)
ありがとうございます。
今後も努力いたします。



杉谷 光司
教授(シ)
勤続30年表彰、
ありがとうございます。



立松 理恵
看護師長(病)
皆様のご指導、ご支援に
感謝いたします。



深田 栄子
看護師長(病)
名市大ひとすじ30年。
あっという間でした。



森杉 晶世
看護師(病)
健康で続けてこられた
ことに感謝しています。

■20年勤続表彰

青木 孝義 教授(芸)
飯田 真介 教授(医)
石井 房世 看護師長(病)
石川 裕子 看護師長(病)
伊藤 恭行 教授(芸)
茨木 智 准教授(経)
大崎 真理 看護師(病)
鬼塚 真実 看護師長(病)

梶栗 潤子 衛生技師(医)
片野 広之 准教授(医)
加藤 紀子 看護師(病)
加藤 弘子 薬剤師(病)
佐久間 英輔 講師(医)
柴田 郁 助産師(病)
田中 恵美 看護師(病)
戸澤 啓一 教授(医)

長谷川 りりこ 看護師(病)
水野 みか子 教授(芸)
溝手 美恵 看護師(病)
湊 京子 臨床検査技師(医)
山下 豊 理学療法士(医)
渡邊 紀子 看護師(病)



※(医):医学研究科 (病):医学部附属病院 (薬):薬学研究科 (経):経済学研究科 (人):人間文化研究科
(芸):芸術工学研究科 (看):看護学部 (シ):システム自然科学研究科

論文プラス1運動表彰 / 高インパクト論文表彰

研究力の強化及び国際的な評価の上昇に関する機運を高め、
世界大学ランキングの上昇を目指すことを目的に表彰するものです。

■論文プラス1運動表彰(写真上)

昨年度に引き続き実施。論文数で特に顕著な業績を収めた研究者を表彰。

医学研究科 講師 平野 佳男	人間文化研究科 教授 中川 敦子
助教 村井 太郎	芸術工学研究科 准教授 加藤 大香士
薬学研究科 講師 矢木 宏和	看護学部 講師 山口 知香枝
経済学研究科 教授 奥田 真也	システム自然科学研究科 教授 熊澤 慶伯



■高インパクト論文表彰(写真下)

今年度から新たに実施。特に影響力の高い論文を著した研究者を表彰。

医学研究科 (筆頭) 助教 藤岡 哲平	経済学研究科 (筆頭・責任) 教授 外谷 英樹
(責任) 教授 澤本 和延	芸術工学研究科 (筆頭・責任) 准教授 張 景耀
医学研究科 (筆頭) 講師 瀨本 周造	看護学部 (筆頭) 講師 杉浦 和子
(責任) 教授 安井 孝周	システム自然科学研究科 (筆頭・責任) 准教授 青柳 忍
薬学研究科 (筆頭) 講師 河野 孝夫	
(責任) 教授 服部 光治	



平成29年度 学長表彰

本学で教育、研究、社会貢献、管理・運営、診療等で顕著な業績を挙げ、本学の発展に尽くされた方を表彰するものです。

医学研究科 講師 杉浦 知範	経済学研究科 講師 樋口 裕城	看護学部 教授 明石 恵子
講師 下平 政史	人間文化研究科 准教授 三浦 哲司	システム自然科学研究科 准教授 田中 豪
薬学研究科 教授 松永 民秀	芸術工学研究科 准教授 尹 奎英	



平成29年度 秋の叙勲

ご受章おめでとうございます。

瑞宝中級章

受章者：奥山 治美
名古屋市立大学名誉教授
元 薬学部長



平成29年度 科学研究費審査委員表彰

日本学術振興会より、科学研究費において有意義な審査意見を付し、公正・公平な審査に貢献したとして約5,300人の審査委員の中から255人が選考され、本学の教員も表彰されました。

薬学研究科 教授 平嶋 尚英
システム自然科学研究科 教授 熊澤 慶伯



平嶋教授(左)、郡学長(中)、熊澤教授(右)

PRIZE 受賞

※受賞期間：2017年7月1日～10月31日 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載

■医学研究科

第5回 日本小児泌尿器科学会
優秀論文賞(臨床研究部門)
腎・泌尿器科学分野 講師
水野 健太郎 (写真中)

第26回 日本小児泌尿器科学会
総会・学術集会 ベストポスター賞
腎・泌尿器科学分野 助教
守時 良演 (写真左)

第26回 日本小児泌尿器科学会
総会・学術集会 ベストポスター賞
腎・泌尿器科学分野 臨床研究医
加藤 大貴 (写真右)



■医学部附属病院



第3回
全国ALSO・Japan学術集会
最優秀演題賞
看護部
太田 優美

■薬学研究科



平成29年度
和漢医薬学会学術貢献賞
生薬学分野 教授
牧野 利明

■人間文化研究科



日本学校教育学会
日本学校教育学会賞
教育学分野 教授
原田 信之

学生の活躍

看護学部

介護老人保健施設でのボランティア活動!

地域の同施設には、本学看護学部生の高齢者看護学実習等にご協力いただいています。そこで、日ごろお世話になっている施設の夏祭りには、学生がボランティアとしてお手伝いをしています。この活動は、施設で暮らす高齢者が学生らと触れ合う時間になり、学生にとっては、90歳を越える方々と楽しく接する大切な学びの時間になっています。



今年は5施設、延べ30人の学生が参加



就活体験を先輩から後輩へ! 「LiNC(リンク)」始動!

2019年卒業予定の就職活動生をサポートしようと、就職活動を終えた現4年生が中心となる自主団体「LiNC」が、今年度も活動を開始しました。7月にはスタートアップセミナーを開催。10月にはグループディスカッション講座など、先輩たちの実体験が今後の後輩たちの活動に生かされています。

学生の受賞

経済学部

円ダービーでユニーク賞受賞

全国の学生が円相場の予想を競う「第17回全国学生対抗円ダービー(日本経済新聞社主催)」で、参加357チームの中から経済学部稲垣ゼミ2チーム(10人)が、相場の予想方法が審査員に高く評価され「ユニーク賞」に選ばれました。



〈受賞者〉(写真左から)
(後列) 原智洋、関口雄斗、鈴木隆太、増井航
(前列) 前川藍、大竹葉月、目谷友花、二村薫、國島美稀、川上愛莉

人文社会学部

第8回 中部大学ESD研究・活動発表会 特別賞受賞



〈受賞者〉(写真左から)
泉里紗、村上夕奈、三浦 菜緒、鈴木 康朗
(曾我ゼミ4年)

医学部

第69回 西日本医科学生 総合体育大会 医学部ゴルフ部(男子) 優勝



イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

開催日	内容	時間・場所・費用・定員	申込方法
12.16 SAT 2017	人文社会・看護・医学部合同 死生学シンポジウム 分野を超えて「死生学」という死について考える学問のシンポジウム	13:00~17:00 桜山(川澄)キャンパス さくら講堂 費用:無料 定員:先着300人	申込不要
12.23 SAT	サステナビリティ・リレーシンポジウム 高校生・大学生によるESD(持続可能な開発のための教育)に関わる研究活動の発表など	13:00~17:30 桜山(川澄)キャンパス さくら講堂ほか 費用:無料 定員:先着200人	申込不要
2.20 TUE - 25 SUN 2018	芸術工学部 卒業・修了制作展	市民ギャラリー矢田・北千種キャンパス 費用:無料 ※詳しくは芸術工学部 学部サイトで順次公開します。 http://www.nagoya-cu.ac.jp/sda/	申込不要

名古屋市立大学交流会

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
2.11 SUN 2018	平成29年度 総会・講演会・懇親会 講演者:小出 宣昭氏 中日新聞社顧問・主筆 (前 代表取締役社長) 対象者:同窓生、現・旧教職員、学生など 本学関係者	開場:14:30 総会・記念講演会:15:00~17:00 懇親会:17:00~19:00 名古屋 Marriott アソシアホテル 費用:10,000円(懇親会費) ※現役学生(社会人の大学院生を除く)・ 2016年度卒業生は無料	交流会HP、メール、またはFAXにてお申し込みください。 http://www.koryukai.jp E-mail:koryukai@sec.nagoya-cu.ac.jp FAX:052-841-6201 申込期限:2018年1月24日(水)

サイエンスカフェ in 名古屋

開催日	内容	時間・場所・費用・定員	申込方法
12.15 FRI 2017	第127回 「単細胞ですが、なにか? ~新発見が続くモデル生物・酵母~」 講師:システム自然科学研究科 准教授 中務 邦雄	18:00~20:00 中区栄 ナディアパーク内 デザインセンタービル7階 7th cafe(セブンスカフェ) 費用:600円 (飲み物+お菓子) 定員:各回先着30人	お名前・ご住所・ご希望の回(開催日)をご記入の上、お申し込みください。 メール:scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-872-5802 FAX:052-872-1531 ※開催日の1か月前から、次回開催分の受付を開始いたします。
1.19 FRI 2018	第128回 「今、なぜ新しい理学部を作るのか? ~科学教育の重要性を考える~」 講師:システム自然科学研究科 教授 湯川 泰		



教員著書・発行物紹介



「祖父母であること
~戦後日本の人口・
家族変動のなかで~」

著者:人間文化研究科 准教授

安藤 究

出版:2017年8月 名古屋大学出版会

寄附顕彰

大学振興基金・名市大生みらい応援基金へのご寄附ありがとうございました。

大学振興基金

■個人

10万円以上 平光 伸也 様
5万円以上 田中 雅子 様、羽塚 康子 様、道川 誠 様
1万円以上 伊藤 靖子 様、岡本 政孝 様、
長野 浩次 様、西川 健一 様
5千円以上 榎原 茂 様、根岸 正男 様、山田 敏男 様、
吉本 信保 様
非公表 小澤 正敏 様、風間 裕子 様、加納 早苗 様、
川村 智 様、木原 肇 様、小林 健 様、
杉浦 正 様、高木 正裕 様、橋岡 俊樹 様、
堀田 誠 様、森 徹 様

■団体

50万円以上 医療法人佳信会 理事長 宗宮 信賢 様
10万円以上 医療法人笠寺病院 様

※五十音順。2017年7月1日から9月30日までに寄附いただき、公表に同意された方。
※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。
※古本募金により寄附いただいた方につきましては、提携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。

名市大生みらい応援基金

■個人

100万円以上 高田 光也 様
10万円以上 澤田 康夫 様
5万円以上 羽塚 康子 様
1万円以上 伊藤 靖子 様、国島 和樹 様、
西川 健一 様、樺澤 吉彦 様、
三浦 哲司 様
5千円以上 榎原 茂 様、根岸 正男 様、
平川 政彦 様
非公表 岡田 昌幸 様、加藤 敬 様、
川村 智 様、郡 健二郎 様、
新海 政司 様、杉浦 正 様、
寺田 明彦 様、永田 雅隆 様、
早川 富博 様、堀田 誠 様

募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想を
ぜひ事務局企画広報課までお寄せください!
E-mail:ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp

本学教職員の 皆さんへ

広報誌「創新」に掲載したい情報はE-mailで、
広報に関する報告・相談は教職員限定サイト「広報ホットライン」
をご活用ください。